

## 平成30年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成29年12月14日

上場会社名 王子ホールディングス株式会社 上場取引所 東  
 コード番号 3861 URL https://www.ojiholdings.co.jp/  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 矢嶋 進  
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役常務グループ経営委員コーポレートガバナンス本部長 (氏名) 武田 芳明 TEL 03-3563-1111  
 四半期報告書提出予定日 平成29年12月14日 配当支払開始予定日 平成29年12月1日  
 四半期決算補足説明資料作成の有無：有  
 四半期決算説明会開催の有無：有（機関投資家・アナリスト向け）

（百万円未満切捨て）

### 1. 平成30年3月期第2四半期の連結業績（平成29年4月1日～平成29年9月30日）

#### （1）連結経営成績（累計）

（％表示は、対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年3月期第2四半期	718,367	3.7	26,568	△21.0	24,179	92.1	16,517	96.6
29年3月期第2四半期	692,940	△3.7	33,640	21.9	12,586	△60.0	8,400	△48.2

（注）包括利益 30年3月期第2四半期 18,196百万円（－％） 29年3月期第2四半期 △46,419百万円（－％）

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
30年3月期第2四半期	16.71	16.70
29年3月期第2四半期	8.50	8.49

#### （2）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
30年3月期第2四半期	1,940,499	772,846	33.1	649.99
29年3月期	1,901,029	759,198	33.1	635.95

（参考）自己資本 30年3月期第2四半期 642,512百万円 29年3月期 628,658百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
29年3月期	—	5.00	—	5.00	10.00
30年3月期	—	5.00	—	—	—
30年3月期（予想）	—	—	—	5.00	10.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

### 3. 平成30年3月期の連結業績予想（平成29年4月1日～平成30年3月31日）

（％表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	1,500,000	4.2	75,000	6.8	64,000	20.9	37,000	△8.1	37.43

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：無
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：無
- ④ 修正再表示：無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	30年3月期2Q	1,014,381,817株	29年3月期	1,014,381,817株
② 期末自己株式数	30年3月期2Q	25,893,500株	29年3月期	25,843,510株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	30年3月期2Q	988,510,241株	29年3月期2Q	988,573,587株

※ 四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. 連結決算の概要	5
3. 四半期連結財務諸表及び主な注記	6
(1) 四半期連結貸借対照表	6
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	8
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	8
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	9
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

(当四半期連結累計期間の経営成績)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 四半期純利益	1株当たり 四半期純利益
	億円	億円	億円	億円	円 銭
2018年3月期 第2四半期	7,184	266	242	165	16.71
2017年3月期 第2四半期	6,929	336	126	84	8.50
増減額	254	△71	116	81	
増減率	3.7%	△21.0%	92.1%	96.6%	

当第2四半期連結累計期間の世界経済は、米国、中国で景気の拡大傾向が続き、堅調に推移しました。国内経済は、企業の収益や個人消費の改善が続く中で、緩やかな回復が続きました。

このような状況の中、当社グループの当第2四半期連結累計期間の業績は、売上高は、前年同四半期比3.7%増収の7,184億円であったものの、営業利益は、コストダウン効果を上回る原燃料価格の高騰等もあり、同21.0%減益の266億円となりました。経常利益は、為替差損の減少等により前年同四半期比92.1%増益の242億円、親会社株主に帰属する四半期純利益は、同96.6%増益の165億円となりました。

(当四半期連結累計期間のセグメント別の動向)

①セグメントの業績

(単位：億円)

		売上高			営業利益 (△は損失)		
		2017年 3月期 第2四半期	2018年 3月期 第2四半期	増減率	2017年 3月期 第2四半期	2018年 3月期 第2四半期	増減率
報告 セグメント	生活産業資材	3,018	3,172	5.1%	94	△2	—
	機能材	1,031	1,065	3.2%	75	89	19.2%
	資源環境ビジネス	1,277	1,422	11.4%	103	163	58.7%
	印刷情報メディア	1,455	1,408	△3.2%	18	△26	—
	計	6,781	7,066	4.2%	289	224	△22.4%
その他		1,307	1,375	5.2%	44	43	△1.0%
計		8,088	8,441	4.4%	333	268	△19.6%
調整額 (注)		△1,159	△1,257		3	△2	
合計		6,929	7,184	3.7%	336	266	△21.0%

(注) 調整額は主として内部取引に係るものです。

## ②セグメント別の概況

当社グループの報告セグメントは、当社グループの構成単位のうち、経済的特徴、製品の製造方法又は製造過程、製品を販売する市場又は顧客の種類等において類似性が認められるものについて集約を実施し、「生活産業資材」、「機能材」、「資源環境ビジネス」、「印刷情報メディア」の4つとしています。報告セグメントに含まれない事業セグメントは、「その他」としています。

各セグメントの主要な事業内容は以下のとおりです。

生活産業資材・・・ 段ボール原紙事業、段ボール加工事業、白板紙・包装用紙事業、  
紙器・製袋事業、家庭紙事業、紙おむつ事業  
機能材・・・・・・・・ 特殊紙事業、感熱紙事業、粘着事業、フィルム事業  
資源環境ビジネス・・・ パルプ事業、エネルギー事業、木材事業  
印刷情報メディア・・・ 新聞用紙事業、印刷・出版・情報用紙事業  
その他・・・・・・・・ 不動産事業、エンジニアリング、商事、物流 他

### 〈生活産業資材〉

当第2四半期連結累計期間の売上高は前年同四半期比5.1%増の3,172億円、営業損益は、コスト削減に努めたものの、原燃料価格の高騰により、同96億円減益の2億円の損失となりました。

国内事業では、段ボール原紙・段ボールは、青果物・飲料・加工食品・通販向け等が堅調に推移し、販売量が前年に対し増加しました。白板紙・包装用紙は、国内販売を中心に好調に推移し、販売量が前年に対し増加しました。紙おむつは、子供用は、インバウンド需要の減少もあり、販売量が前年に対し減少しましたが、大人用は増加しました。家庭紙は、堅調に推移し、販売量が前年に対し増加しました。

海外事業では、東南アジアにおいて、段ボール原紙の販売が堅調に推移し、段ボールの販売も飲料・加工食品関連を中心に堅調に推移しました。紙おむつは、東南アジアにおける現地生産・販売の本格化、中国における現地販売組織立ち上げによる本格市場参入等により、販売量が前年に対し大幅に増加しました。

### 〈機能材〉

当第2四半期連結累計期間の売上高は前年同四半期比3.2%増の1,065億円、営業利益は、コスト削減効果等により、同19.2%増益の89億円となりました。

国内事業では、特殊紙の国内販売は、新製品開発・新規顧客開拓を進めてきたこともあり、スマホ関連等の電子部品や医療関連用途の剥離紙を中心に、前年に対し販売量が増加しました。輸出販売は、剥離紙等の拡販により、前年に対し販売量が増加しました。感熱紙の国内販売は、ほぼ前年並みでした。

海外事業では、感熱紙の販売が、南米で堅調に推移しました。

### 〈資源環境ビジネス〉

当第2四半期連結累計期間の売上高は前年同四半期比11.4%増の1,422億円、営業利益は、パルプ市況の上昇等により、同58.7%増益の163億円となりました。

国内事業では、パルプ事業は、溶解パルプが輸出向けを中心に販売好調であり、販売量が前年に対し増加しました。エネルギー事業は、堅調に推移し、売電量はほぼ前年並みでした。

海外事業では、パルプ事業は、Celulose Nipo-Brasileira S.A.の販売が好調に推移しました。木材事業は、Pan Pac Forest Products Ltd.の拡販により、販売量が前年に対し増加しました。

### 〈印刷情報メディア〉

当第2四半期連結累計期間の売上高は前年同四半期比3.2%減の1,408億円、営業損益は、コスト削減に努めたものの、原燃料価格高騰がコストダウン効果を上回り、同43億円減益の26億円の損失となりました。

国内事業では、新聞用紙は、発行部数減及び頁数減の影響等により、販売量が前年に対し減少しました。印刷・情報用紙は、販売量はほぼ前年並みでしたが、売上高は市況軟化の影響等により、前年に対し減少しました。

海外事業では、江蘇王子製紙有限公司が順調に印刷用紙の販売を伸ばし、販売量が前年に対し増加しました。

## (2) 財政状態に関する説明

総資産は、当第2四半期連結会計期間の期末日が休日のため決済が翌営業日となったことから現金及び預金、受取手形及び売掛金が増加したこと等により、前連結会計年度末に比し395億円増加し、19,405億円となりました。

負債は、当第2四半期連結会計期間の期末日が休日のため決済が翌営業日となったことから支払手形及び買掛金が増加したこと等により、前連結会計年度末に比し258億円増加し、11,677億円となりました。有利子負債は、前連結会計年度末に比し14億円減少し、6,759億円となりました。

純資産は、円高により為替換算調整勘定が減少した一方で、利益剰余金やその他有価証券評価差額金の増加等もあり、前連結会計年度末に比し136億円増加し、7,728億円となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2017年8月2日の決算短信で公表した通期の連結業績予想に変更はありませんが、今後、連結業績予想の修正が必要と判断した時点で速やかに公表します。

2. 連結決算の概要

(連結経営成績)

(億円)

	第2四半期 (累計)		通期 (予想)	
		対前年同期増減		対前年度増減
売上高	7,184	254	15,000	601
国内	5,037	△60		
海外	2,147	314		
(海外売上高比率)	29.9%	3.4%		
営業利益	266	△71	750	48
経常利益	242	116	640	111
当期純利益 (親会社株主に帰属)	165	81	370	△33

(億円)

減価償却費	352	△8	707	△41
設備投資額	268	64	608	92

(平均為替レート)

	第2四半期 (累計)		通期 (予想)	
		対前年同期増減		対前年度増減
円/USドル (4~3月)	111.1	5.8	110.6	2.2
円/ユーロ (4~3月)	126.3	8.2	125.7	7.0
ブラジルレアル/USドル (1~12月)	3.18	△0.53	3.14	△0.35
NZドル/USドル (1~12月)	1.41	△0.07	1.41	△0.03

(連結財政状態)

(億円)

	2017年9月末	
		対前年度末増減
総資産	19,405	395
純資産	7,728	136
有利子負債残高	6,759	△14

(連結就業人員)

(人)

	2017年9月末	
		対前年度末増減
期末就業人員数	36,031	639
国内	17,029	△19
海外	19,002	658

3. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2017年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2017年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	43,833	59,044
受取手形及び売掛金	292,780	308,472
有価証券	9,787	10,895
商品及び製品	93,973	98,778
仕掛品	18,215	19,282
原材料及び貯蔵品	78,992	84,862
その他	43,729	43,200
貸倒引当金	△1,613	△1,411
流動資産合計	579,698	623,124
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	207,271	204,309
機械装置及び運搬具(純額)	383,471	367,951
土地	237,328	234,927
その他(純額)	242,053	243,439
有形固定資産合計	1,070,124	1,050,626
無形固定資産		
のれん	9,503	10,744
その他	12,169	11,788
無形固定資産合計	21,673	22,533
投資その他の資産		
投資有価証券	152,384	162,564
その他	78,867	83,683
貸倒引当金	△1,719	△2,032
投資その他の資産合計	229,532	244,214
固定資産合計	1,321,330	1,317,374
資産合計	1,901,029	1,940,499



(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2017年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2017年9月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	205,147	241,072
短期借入金	178,480	191,797
コマーシャル・ペーパー	2,000	30,000
1年内償還予定の社債	40,000	40,000
未払法人税等	9,385	7,363
引当金	5,212	3,507
その他	87,516	80,594
流動負債合計	527,742	594,334
固定負債		
社債	80,000	40,000
長期借入金	376,835	374,098
引当金	8,043	7,913
退職給付に係る負債	54,123	54,516
その他	95,087	96,790
固定負債合計	614,089	573,317
負債合計	1,141,831	1,167,652
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	103,880	103,880
資本剰余金	112,455	112,066
利益剰余金	350,676	362,965
自己株式	△14,394	△14,427
株主資本合計	552,618	564,485
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	34,075	40,526
繰延ヘッジ損益	△729	△376
土地再評価差額金	5,921	5,921
為替換算調整勘定	31,908	24,801
退職給付に係る調整累計額	4,863	7,154
その他の包括利益累計額合計	76,039	78,026
新株予約権	266	266
非支配株主持分	130,273	130,068
純資産合計	759,198	772,846
負債純資産合計	1,901,029	1,940,499

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
(四半期連結損益計算書)  
(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2016年4月1日 至 2016年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2017年4月1日 至 2017年9月30日)
売上高	692,940	718,367
売上原価	531,312	558,956
売上総利益	161,627	159,411
販売費及び一般管理費		
運賃諸掛	69,740	72,281
その他	58,247	60,560
販売費及び一般管理費合計	127,987	132,842
営業利益	33,640	26,568
営業外収益		
受取利息	517	709
受取配当金	1,748	1,372
為替差益	—	994
持分法による投資利益	715	909
その他	3,105	1,625
営業外収益合計	6,086	5,611
営業外費用		
支払利息	3,570	3,360
為替差損	20,375	—
その他	3,194	4,640
営業外費用合計	27,140	8,001
経常利益	12,586	24,179
特別利益		
固定資産売却益	6,452	3,949
その他	960	617
特別利益合計	7,413	4,566
特別損失		
災害による損失	99	1,713
固定資産除却損	773	809
その他	1,891	276
特別損失合計	2,764	2,798
税金等調整前四半期純利益	17,235	25,947
法人税、住民税及び事業税	6,094	7,137
法人税等調整額	3,037	5
法人税等合計	9,132	7,142
四半期純利益	8,103	18,804
非支配株主に帰属する四半期純利益又は非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△296	2,286
親会社株主に帰属する四半期純利益	8,400	16,517

(四半期連結包括利益計算書)  
(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2016年4月1日 至 2016年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2017年4月1日 至 2017年9月30日)
四半期純利益	8,103	18,804
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	792	5,965
繰延ヘッジ損益	106	352
為替換算調整勘定	△55,951	△9,740
退職給付に係る調整額	942	2,331
持分法適用会社に対する持分相当額	△413	483
その他の包括利益合計	△54,523	△607
四半期包括利益	△46,419	18,196
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△29,056	18,869
非支配株主に係る四半期包括利益	△17,362	△672

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。